

編集後記

大阪はミナミのアメリカ村でサルが捕獲されたというニュースを見た。珍しいペットが逃げたのかと思いきや、野生のサルらしい。みんぱくのある大阪府の北摂地域でサルが出没したというのであれば、まあ山も近いし、さほど驚かないが、はるばるミナミの繁華街まで、いったいどうやって辿りついたのだろうか？ 箕面の滝を仮に出发点とすると、ほぼ真南に人間の足で下ること5時間弱でアメリカ村に着く。サルの足でも不可能ではないが、途中で見つかってしまいそうなものだ。トラックの積荷に紛れ込んでいたのだろうか？ アマゾンの吹き矢猟師さながらに、麻醉薬入りの吹き矢でサルを射止めることができる市の職員が大阪にいる、ということもさらに驚きである。

2004-5年のとり展に始まり、毎年恒例になったみんぱくの年末年始展示も、「さる」でついに干支を一巡したことになる。この干支展は、普段は展示にかかわらないみんぱくの職員が企画に加わる研修の機会でもあるのだが、チラシのデザインやキャッチコピー（「さる、時々ひと、ところにより神」）の完成度もなかなか。関連イベントも盛りだくさんである。

年末年始は、ぜひみんぱくへ。

(山中由里子)

- 表紙：三猿の土人形 地域：日本
見ざる (H0107847)、聞かざる (H0107848)、言わざる (H0107846)
- p2の三猿(置物) 地域：オーストリア H0199984
すべて「さる」展にて展示中。

次号の予告

特集

「夷酋列像」を読み解く

みんぱくをもっと楽しみたい 人のために—会員制度のご案内

国立民族学博物館友の会

本館展示の無料入館や特別展示の観覧料割引にくわえ、『月刊みんぱく』や会員機関誌『季刊民族学』などの定期刊行物や、毎月の友の会講演会、セミナーなどを通して多様な文化の情報を提供しています。

みんぱくフリーパス

1年間、本館展示へ何度でも無料で入館いただけます(特別展示は観覧料割引)。他にも、みんぱくを楽しむための特典がいっぱいです。

国立民族学博物館キャンパスメンバーズ

みんぱくと大学等教育機関との連携を図り、文化人類学、民族学にふれる学びの場を提供することを目的とした会員制度です。

詳細については、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話06-6877-8893 / 平日9:00 ~ 17:00)

月刊みんぱく 2016年1月号

第40巻第1号通巻第460号 2016年1月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子
丹羽典生 丸川雄三 南真木人 吉岡乾
デザイン 宮谷一 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>